

SDGs Report 2024

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



株式会社システムリサーチ

Top Message

当社は、持続可能な社会の実現に向けたSDGsに賛同し、2023年度からKPIを掲げ、取り組んでいます。より良い環境、より良い社会を作っていくのは私たち一人一人です。小さなことでも無理のない範囲で継続していくことが大切だと考えます。

2024年度は、掲げたKPIに対し残念ながら目標未達成となりましたが、SDGs委員会を中心に積極的な活動を行いながら、社員個々の認知度向上に努めており、その成果は着実に出て来ています。

引き続きSDGsに触れる機会を増やし、目標達成を目指して実のある活動を推進していきます。

当社の2024年度のKPIへの取組内容とその結果について報告をいたします。

代表取締役 山田 良作



株式会社システムリサーチ

2024年度のシステムリサーチの4つのKPI

3 すべての人に
健康と福祉を



運動習慣のある
社員比率
60%以上

全社員の繰越有
給休暇
90%取得

8 働きがいも
経済成長も



4 質の高い教育を
みんなに



アンケート認知度
95%以上

アンケートで
SDGs活動取組
者60%以上

3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



運動習慣のある社員比率 60%以上



活動・取組内容

- ウォーキング×ゴミ拾い(プロギング)イベントの開催 (全3回)
 - ・40周年コラボ企画：神鍋リレーマラソン+プロギング(10月)
 - ・拠点企画：京都センタープロギング (2月)
 - ・健康づくりコラボ企画：神戸リレーマラソン+プロギング(2月)
- 運動習慣化セミナー開催 (9月)
 - ・全社員参加による開催

要因分析



前年度に引き続き、健康づくり推進委員会※の活動と合わせて**スポーツイベントを開催**した。ただ、猛暑期間はスポーツイベントの開催を控えた。

※健康づくり推進委員会は、当社の健康経営推進のための委員会



さらに、**運動習慣化セミナーを実施**することで、運動に対する意識が低い社員への働きかけを行った。

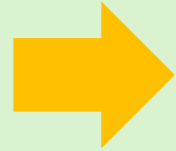


前年比**-3.1%**と減っているのは、運動習慣がすでにある社員の**退職**や、猛暑期間のイベント**未開催**などが影響したと考えられる。

全社員の繰越有給休暇 90%取得

【2022年度】

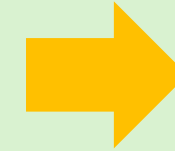
88.6%



【2023年度】

85.0%

(前年比 -3.6%)



【2024年度】

87.7%

(前年比 2.7%)

活動・取組内容

- 定例的な経営、マネージャー層への有給取得状況の報告
- 有給休暇の取得しやすさ調査アンケート実施
- 「ひと月に1日有給休暇を取得することを推奨」施策の開始（2023年11月～）

※繰越有給休暇とは、昨年度付与された有給休暇のうち、今年度に繰り越した有給休暇のことです。
なお、当社では、繰越有給休暇は使われなければ翌年度には取得する権利は消滅してしまいます。

要因分析



当社所定の土曜出勤日は昨年に引き続き5日設定されている。
土曜出勤日に多くの社員が有給休暇を**取得**している。



有給休暇取得推進施策の策定が遅れたため、施策の**実施期間**が**短く**、十分な効果を発揮できなかった。

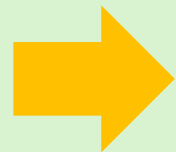


前年比**2.7%**と若干の取得率向上が見受けられるが次年度は年間の土曜出勤日数が**3日**になるため、**効果的な施策**を検討していく必要がある。

アンケート認知度 95%以上

【2022年度】

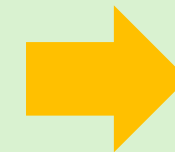
84.3%



【2023年度】

90.1%

(前年比 5.8%)



【2024年度】

87.0%

(前年比 -3.1%)

活動・取組内容

- 社内報にてSDGs通信の発信（計11回）
- SDGsアンケートの実施と結果報告
- SDGsワークショップの開催（1月）

- 委員会でアクションカードゲームX大会開催（9月）

要因分析



啓蒙活動としてSDGsに関する**情報の発信**など、様々な取り組みを行ったが、前年比より**-3.1%**と低下した。



世間的にもSDGsが浸透してきており、当たり前に行っていることを**強く意識すること**もなく**なった**のではないかと推測。



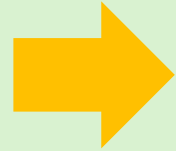
今後、同様の活動を行ってもこれ以上の向上は**難しい**こと、また、「SDGs活動取組者60%」というKPIとも活動が重複すると判断し、次年度は当KPIは**廃止**とする。

アンケートでSDGs活動取組者 60%以上



【2022年度】

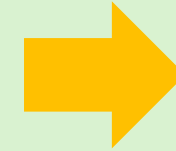
42.1%



【2023年度】

46.3%

(前年比 4.2%)



【2024年度】

53.0%

(前年比 6.7%)

活動・取組内容

- 健康マイレージシステムのSDGs目標達成で成績表彰
- 社内報にてSDGs目標達成によるCO2削減量の発信
- SDGsアンケートの実施と結果報告
- 毎月17日を当社の「SDGsの日」と設定
- 「CO2減らそう月間」の開催（9月）

要因分析



令和6年度SDGs努力賞※達成者は**70名**おり、全社員のうち、**約半数**がSDGsの取組をしている。

※年間100日以上SDGs活動取組者に贈られる賞



前年比**6.7%**の向上と順調にSDGs活動取組者比率が上がっている。

普段の習慣などもSDGs活動に**紐づく**ことを意識してもらった働きかけが必要。



社員全体でのCO₂削減結果を社内報にて隔月で発信し、全社での**CO₂削減量を可視化**することで、SDGs活動取組をしていることを意識してもらった部分もあった。

ウォーキング×ゴミ拾い プロギングの開催
健康的にウォーキングをしながらゴミ拾いしました！
社員同士の交流も深まりました。



<健康づくりコラボ企画>
神戸リレーマラソン+プロギング(2月)



<拠点企画>
京都センタープロギング(2月)



<40周年コラボ企画>
神鍋リレーマラソン+プロギング(10月)



竹野海岸清掃のボランティアにも参加しました！
漂流物には様々なものがあり、海洋汚染について
考えさせられます。



< 竹野海岸清掃ボランティア風景 >

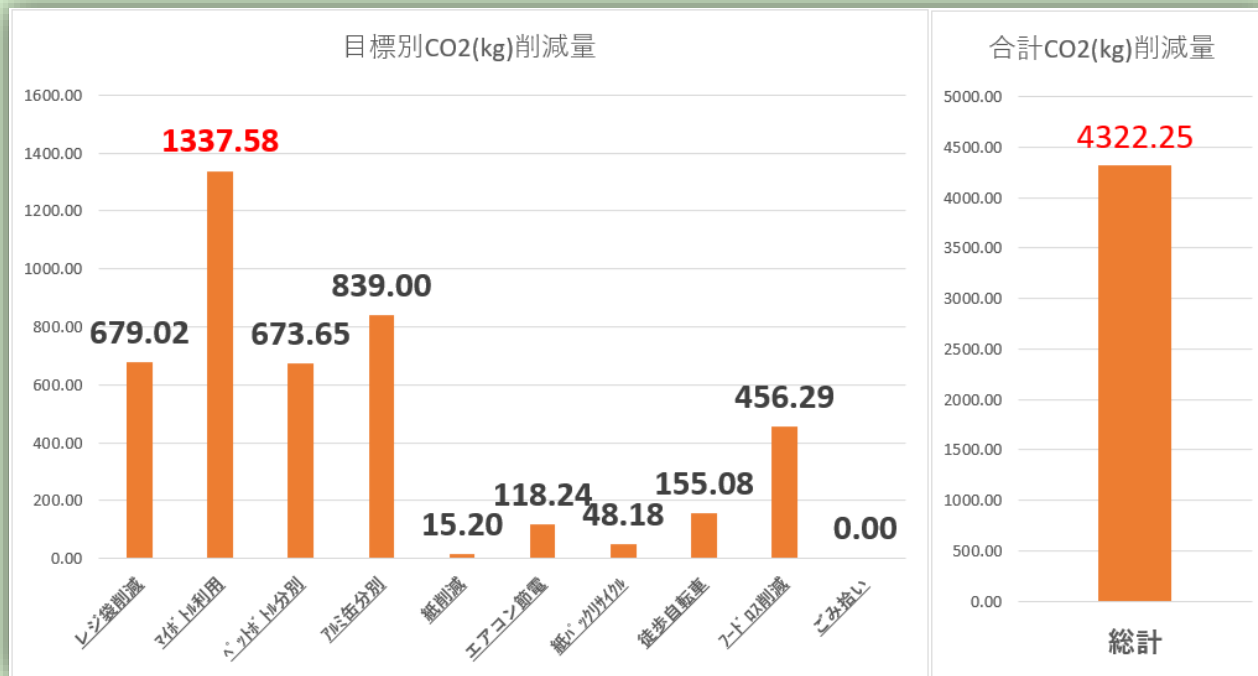


自社開発の「株式会社システムリサーチ健康マイレージシステム」で社員のSDGsな活動を記録し、参加者全員でのCO2削減量を算出！

約4322kgのCO2を削減！



<CO2削減量グラフ>



<健康マイレージシステム> 健康記録及びSDGs目標達成入力画面

健康マイレージ	
累計ポイント	ポイント
未承認ボーナス	0ポイント
歩数	歩
歯磨き	☐ 歯磨きをした
体重	kg
	BMI: 0.0
年間目標	体力の向上
目標1	☐
目標2	☐
目標3	☐
SDGs累計ポイント	ポイント
SDGs未承認ボーナス	0ポイント
SDGs目標 目標達成の指標	☐ 【プラスチック削減】マイバッグ利用を利用しレジ袋を削減又は新たなレジ袋を使わなかった ☐ 【プラスチック削減】マイボトルの利用 ☐ 【プラスチック削減】ペットボトルの分別 ☐ 【リサイクル】アルミ缶を水洗いしてから分別排出する ☐ 【紙の削減】意識して紙を削減する ☐ 【節電】エアコンの設定温度を1℃緩和 ☐ 【森林伐採の削減】紙パックのリサイクル ☐ 【温室効果ガスの削減】ガソリン車の移動を徒歩または自転車に変えた ☐ 【フードロスの削減】食品ロスを減らす ☐ 【環境美化】道路等に落ちているゴミ拾い（会社以外）
備考	100文字以内で入力してください

Road To 2030 To Be Continued...